

1 開催概要

平成29年4月12日、外務省大阪分室は、日本の養殖技術及び和歌山県の魅力を海外に発信するため、近畿大学及び和歌山県の協力を得て在関西の各国（総）領事夫妻を対象とした近大&和歌山ツアーを実施しました。ツアーには11カ国計22名（オランダ、パナマ、インドネシア、大韓民国、中国、モンゴル、ドイツ、フィリピンの総領事及びタイ、米国、インドの各領事他（国名は総領事の着任順））の総領事夫妻及び館員等が参加しました。

また、和歌山県知事主催の懇談会の機会に和歌山県議会観光振興議員連盟に対し、鈴木関西担当大使より国際交流面での活動を評価し、感謝状を贈呈しました。

2 ツアー日程

稲むらの火の館視察、近畿大学の養殖研究紹介、鈴木関西担当大使主催昼食会、近畿大学水産研究所白浜実験場視察、仁坂和歌山県知事との懇談会

3 視察先概要

- (1) 最初の視察先である稲むらの火の館では、1854年の安政南海地震の津波の際の故事を描いた映画を鑑賞したほか、インドネシアのアチェ津波博物館を紹介するコーナーなどを見学し、和歌山県の津波防災対策に感心を寄せていました。



- (2) 近畿大学による養殖研究の紹介では、世界で初めてクロマグロの完全養殖に成功した同学の養殖技術が紹介され、昼食会では養殖魚のクロマグロ、マダイ及びシマアジの試食が行われました。



- (3) 同大学の白浜実験場では世界の養殖技術の主流となっている海上の「網いけす（小割）式養殖」を視察し、養殖魚の飼育方法や成長過程などの説明に質問が相次ぎ、同大学の養殖技術への高い関心が窺えました。



- (4) 仁坂和歌山県知事との懇談会では知事、海外進出に意欲的な県内企業関係者と総領事の間で活発な意見交換が行われました。また、本年2月に白浜町で開催された「大使フォーラム in 白浜」を主催した和歌山県議会観光振興議員連盟に対する鈴木関西担当大使からの感謝状が贈呈されました。